



国際ロータリー第2540地区

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

8月
2025 / vol.2

ロータリー特別月間●8月

会員増強・新クラブ結成推進月間

目次

- 2 ガバナーメッセージ
- 3～4 RI会長対談
- 5 クラブ活性化セミナー報告
- 6～7 ガバナー公式訪問報告書
- 8 RLI委員会報告
- 9 新会員紹介
- 10 R財団寄付者一覧
- 11 パストガバナーメッセージ
- 12 会員数

Rotary
第2540地区



よいことのために
手を取り合おう

2025-26年度 ガバナー
桑山 明久

2025-26年度 国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ



国際ロータリー第2540地区
2025-2026年度ガバナー

桑山 明久
(本荘ロータリークラブ)

猛暑が続いております。地区ロータリアンの皆様には御健康で公私共に御活躍のことと存じます。この月信を書いている時点で、地区内40クラブ中12クラブの訪問を終えました。どのクラブにおかれましても、私の訪問を歓迎していただいたこと、心より感謝申し上げます。私にとっても学ぶところが多く、又例会を楽しんでおります。食事もおいしくいただきました。唯残念であり、又申し訳なく思っていることは、私の両手が頸椎ヘルニアと変形性関節のため、食事に時間がかかり食べ残しをしてしまうことです。もうひとつの理由は、その後の講話にあります。お話することを考えながら食べるとなかなか進まないことがあります。小心者の所以です。

ガバナーエレクト時代の研修で「地区ガバナーはR I 役員です。だから、R I の方針を良く理解して覚え、それを地区のクラブ、ロータリアンにしっかりお伝えするのですよ」と、圧力を感じていました。

限られた時間でお話できることは限られます。例会前の会長、幹事面談でクラブの状況を私の可能な範囲で把握し、ガバナー補佐からの事前訪問レポートに助けられて講話に臨むことになります。話が終わり、帰路では反省しきりです。余計な話が多かったなあと。ある人が書いてました「有益でためになる話よりもおもしろい話が心に残るものである」。これからの訪問では、ロータリーを楽しむためのヒントになるような、おもしろい話を心掛けたいと思っています。

これから訪問するクラブの皆さん、私を支えてくれるガバナー補佐の皆さん、よろしくお願いいたします。

●ロータリーでの体験 ●会長としての目標 ●オリーブオイルとオペラへの愛

ロータリーの新会長が ●会長としての目標 ●オリーブオイルとオペラへの愛 について語る

文：Etelka Lehoczky

フランチェスコ・アレツツォ氏は、地区大会で友人の隣に座っていました。そこに電話がかかってきて、国際ロータリー理事会とのZoom会合に参加するために、その場を退席するよう言われたのです。数分後、アレツツォ氏は自身が2025-26年度国際ロータリー会長に選出されたことを知りました。グローバルな会員制組織であるロータリーを率いる、イタリアから3人目、南イタリアからは初の会長。まだ正式に発表されていなかったのに誰にも話せませんでした。その後すぐに、部屋にいる人たちがスマホを手にする姿に気づきました。

フランチェスコ・アレツツォRI会長は、イタリア、シチリア島にあるラグーザ・ロータリークラブ会員です。「夜11時頃にソーシャルメディアで発表されたとき、私たちは晚餐会の最中でした」とアレツツォ氏。「その場にいた400人以上のロータリアンが一斉にスマホを眺めていました。何とも忘れがたい光景でした。突然、みんなが私の前に列をなして、お祝いの言葉をかけて抱擁してくれました。本当に感動しました」

6月に理事会が特別会合を開いてアレツツォ氏を会長に選出した1週間後、彼は2025年ロータリー国際大会が開催されたカナダのカルガリーに飛び立ちました。大会では、世界各地から集った会員が温かく迎えてくれました。会長として正式に紹介された閉会本会議でのスピーチでは、何千人もの参加者が盛大な拍手を送りました。

シチリア島（イタリア）のラグーザ・ロータリークラブ会員であるアレツツォ氏は、30年以上ロータリーで活動してきました。合同戦略計画委員会副委員長、RI理事、2023年メルボルン国際大会委員長など、数々のリーダー職を歴任。ロータリー歴を通じて、RIのインパクトを高め、世代を超えた積極的参加の機会を拡大する取り組みをサポートしてきました。イタリア国民が世界中のロータリーの人道的プロジェクトを支援しやすくするための国を挙げたイニシアチブ「Fondazione Rotary Italia（イタリア・ロータリー財団）」の会長も務めました。

以下のインタビューは、カルガリー滞在中に複数回にわたって行われたものをまとめたものです。休憩中の廊下で、ロータリー行事に向かうバスの中で、大会会場に設置された臨時事務室で話をする間、行き交う多くのロータリー会員が会長と挨拶を交わし、抱擁をしました。多忙なスケジュールにもかかわらず、『Rotary』誌のために、自分の人生、ロータリーでの旅路、組織のための計画、そして自身の二つの情熱（オペラとオリーブオイル）について語ってくださいました。



6月にカナダのカルガリーで開催された2025年ロータリー国際大会に参加したフランチェスコ・アレツツォ RI 会長とアナ・マリア夫人。



会長のエイドでマルタ・ロータリークラブ会員のジョン・ディ・ジョルジオ氏と話すフランチェスコ・アレツツォRI会長（右）。



クリスマスシーズンの写真のためにポーズをとるフランチェスコ・アレツツォRI会長とご家族。
(前列左から)：孫のフランチェスコ君を抱いたアレツツォ氏、孫のアナ・マリアちゃんを抱いた妻アナ・マリアさん。(後列左から)：娘のエレナさん、娘婿のマグヌスさん、娘のラファエラさん。

Q：長年、矯正歯科医として働いてこられましたね。この仕事のどのような部分が、優れたロータリアンとなるために役立っていると思いますか。

A：私は46年間、歯科矯正医をしています。主に子どもたちを診ており、治療を始める前に彼らを理解しようとするのがとても重要です。協力してもらわないと治療はできません。こういった関係を築けることは、この仕事の素晴らしい点の一つです。

Q：今はお孫さんたちがいらっしゃいますね。

A：はい、二人のかわいい孫がいます。上の孫は3歳で、私の名前と同じ、フランチェスコと言います。下

の孫は1歳で、妻の名前と同じです。ですから、家族にもう一人ずつ、フランチェスコとアナ・マリアがいるんです。

Q：ロータリーに入会されて30年以上になりますが、入会のきっかけを覚えていますか。

A：最初は、ロータリーはいろんな視点を持つ新しい友人と出会う場所にすぎませんでした。クラブ会長になってはじめて、ロータリーを本当に理解するようになりました。今では、ロータリアンと話するとき、違う動詞を使うよう伝えます。ロータリーは、映画館のようにただ座って誰かが何かをするのを見るために「行く」場所ではありません。ロータリーは、自分が何かを「する」場所なのです。参加しなければならないのです。そうしてはじめて、成長が始まります。

Q：ロータリーでどのように成長しましたか。

A：クラブ会長にならないかとクラブから最初に勧められたとき、私は会長にはなりたくありませんでした。吃音の問題を抱えていたので、会員の前で話さなければならないことに恐怖を感じていたんです。でも、実際はそれほど悪い経験ではありませんでした。その後、地区ガバナーにならないかと誘われました。会長の時と同じく、ガバナーにもなりたくありませんでした。それでももう一度、説得されてしまったのです。今、私が国際ロータリーの会長になり、別の言語でステージで講演していることを考えると、ロータリーがどれほど前向きで、永続的なかたちで私を変えてくれたかがわかります。

Q：ロータリーは、そのようなインパクトを会員や入会候補者にどのように伝えることができるでしょうか。

A：クラブ会長へのコミュニケーションを改善しなければなりません。クラブ会長は、会員とのやり取りの最前線にいるからです。会員増強や新クラブ結成の重要性を地区ガバナーにはうまく指導できていますが、ガバナーがクラブ会長と話す回数は年に2～3回です。会員増強の目標がなぜそれほど重要なのかを理解していないクラブ会長が多すぎます。

Q：会長としての年度中にどのような課題に直面すると思いますか。

A：ぎりぎりで会長に就任したことは十分意識しています。今ここで課題について学び、目標設定を始めたとしても、多くは達成できないでしょう。ロータリーは、即座に方向を変えられるスクーターではなく、大きなクルーズ船のようなものです。大きく方向転換したいのなら、何キロも先から始めなければなりません。私は、ユン・サング会長エレクトと密接に協力したいと思っています。サングさんと私で、とても効果的な2年計画を練ることができると思います。

Q：ロータリーで過ごしてきた年月の中で、最も思い出に残った瞬間は何でしたか。

A：私がとても感動したのは、地区ガバナーとして、地中海沿岸の地区（イタリア、フランス、スペイン、北アフリカ、ギリシャ、トルコ）を対象にロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）を開催した時のことでした。トルコとイタリアの若者をまとめるという課題がありました。彼らはお互いを非常に異なる存在と見なしていたからです。初日は緊張感がありました。彼らが互いを好きではないことは明らかでした。しかし、数日後、互いが同じ趣味や夢を持っていることに気づき始めました。最終日には、ジョン・レノンの「イマジン」を一緒に歌い、両国の文化の違いについて自分たちが書いた寸劇を披露しました。これは、今でも忘れることのできない素晴らしい思い出の一つです。

Q：職業では、歯科医やオリーブオイル生産者の業界団体でリーダーシップを発揮してられました。コンセンサスにいたるのが最も難しいのはどのグループですか。歯科医のグループ、オリーブオイル生産者のグループ、またはロータリー会員のグループですか。

A：私の経験では、オリーブオイルの生産者ですね。オリーブオイルの生産者たちはそれぞれ、自分のオリーブオイルが世界で最も素晴らしいと確信しています。ですから通常、ほかの生産者と協力したいと心からは思っていません。

Q：オリーブオイルの生産にはどのくらい関わっているのですか。

A：私の家族は1世紀以上前からオリーブオイルを生産しています。娘たちはこの分野に関心がないので、私が最後の世代になると思います。

Q：会長はオペラも大好きですね。好きなオペラは何ですか。また、好きな作曲家は誰ですか。

A：私が好きな作曲家はヴィンチェンツォ・ベッリーニです。シチリアで生まれ、とても若くして亡くなりました数作のオペラを作っただけですが、すべて非常に質の高いものです。もちろん、プッチーニ、ヴェルディ、モーツァルトなど、ほかにも多くの偉大な作曲家がいます。一人を選ぶのは難しいですね。

— 2025年7月

(出典: https://www.rotary.org/ja/a-chat-with-2025-26-rotary-international-president-francesco-arezzo?source=rotaryorg_frontpage_features)

2025-26年度クラブ活性化セミナー開催

桑山ガバナー年度最初のセミナーとして、7月5日（土）「クラブ活性化セミナー」が由利本荘市ホテルアイリスにて開催されました。

プログラムは、桑山ガバナー挨拶、会員拡大増強委員会から現況報告とお願いから始まりました。第2800 地区パストガバナー藤川享胤氏の講演は「職業奉仕理念の研鑽と実践」をテーマに行われ、「60 余年雲水の道、今 寂滅に臨んでいよいよ思うは、報恩の難しさ」と繰り返し述べられました。そして、職業奉仕についてロータリアンに意見を問いかけられました。

ICC（国際共同委員会）については、国際奉仕委員長阿部氏の主旨説明の後、多くのクラブ会長から賛同の意が表されました。

分科会は、「会員拡大増強」「職業奉仕」をテーマに RLI 方式で行われました。参加者は6グループに分かれ、RLI 委員のファシリテーションの元、「会員増強のために各クラブでできること」「職業奉仕の事業を推進するための具体的な方策」などについて意見が交わされました。各グループからの発表では、各クラブの会員増減の現状報告や職業奉仕に対する多様な考えなどが共有されました。懇親会は奥山ホストクラブ会長の挨拶と、土館ガバナーエレクトの愉快的な中締めで終わり、無事セミナーの幕を閉じることができました。



ガバナー公式訪問報告書

田沢湖ロータリークラブ・角館ロータリークラブ合同例会

7月9日(水)

角館ロータリークラブ 幹事 佐藤 健

2025年7月9日、桑山ガバナーをお迎えし、田沢湖ロータリークラブ・角館ロータリークラブ合同による公式訪問が行われました。訪問に先立ち、会長・幹事との面談が実施され、クラブの活動方針や奉仕活動、会員増強、財団支援の状況などを報告しました。ガバナーからは、各クラブの特色を活かした独自の取り組みに対し、前向きな評価をいただきました。

続く合同例会においてガバナーは、「ロータリーを学ぼう」RLIの意義についてご講話くださいました。特に、RLIでは単なる知識の習得にとどまらず、クラブを越えた“人と人とのつながり”が大きく広がることが強調されました。ガバナーは、「みんなで手を取り合って、地域で、地区で、そして世界で良いことをしていこう」と呼びかけられました。

今回の公式訪問は、クラブにとって大きな励みとなり、今後の活動への指針を得る貴重な機会となりました。いただいたご助言を糧に、今後もより良いクラブ運営を目指してまいります。ガバナーのご厚意に心より感謝申し上げます。



横手東ロータリークラブ

7月17日(木)

横手東ロータリー・クラブ 会長 細谷 昇
幹事 奥山 幸司

2025年7月17日(木)、よこてシャイニーパレスにて、ガバナー公式訪問を行いました。桑山明久ガバナー、柴田為英ガバナー補佐2名のご来訪をいただき、例会が開催されました。

例会前に会長、幹事との面談が行われ、桑山ガバナーより「横手東ロータリー・クラブさんの強みはなんですか」と問われ、我がクラブの強みは少人数だがアットホームなクラブですが、弱みにもつながる所ですと申し上げました。桑山ガバナーからは「何度でも会長・幹事、1人で何役もやりながらロータリー活動を続けてくれる事は大変素晴らしい事だ」とお褒めの言葉をいただき勇気が出ました。

昼食後の例会の中での桑山ガバナーの卓話では横手東ロータリー・クラブの皆さんはみんなが仲良くロータリーを楽しんで続けている事が確認できたというお言葉をいただきました。そしてロータリーの原点をわかりやすくご説明いただきました。横手東ロータリー・クラブのメンバーも大変刺激を受けたと思われます。

これからの横手東ロータリー・クラブの活動により一層の推進力を与えて頂いた一日でした。ご訪問ありがとうございました。



潟上ロータリークラブ

7月22日(火)

潟上ロータリークラブ 会長 佐々木 徹

例会前のガバナーとの面談では、事前アンケートに沿ってクラブの現状や課題について報告、相談をさせていただきました。会員増強については前年度3名の逝去による退会を含め6名の退会者を出してしまったこと、そして現在女性候補をはじめ数名の候補者がいることを報告。クラブ活性化セミナーで知った他クラブの取り組みを当クラブでも取り入れ、オープン例会などの開催を視野に入れ会員増強に繋げていく旨お話しさせていただきました。また、現在クラブで行っている奉仕活動について説明させていただいたほか、今年度は新たなクラブの奉仕活動を会員と模索することにしており、クラブ活動の充実を推進していくことを報告させていただきました。

例会ではRI会長予定者の突然の辞任から新たな会長候補者が決まり今に至ることをご説明いただき、今後の国際ロータリーの方向性とガバナーのお考えをメッセージとしてクラブ会員にお話しいただきました。また、ICCについて地区のお考えを改めてお話しいただいたほか、DEIについても面白いエピソードを加え、とても分かりやすくお話しいただき、とても意義のある講話をいただきました。



秋田ロータリークラブ

7月23日(水)

秋田ロータリークラブ 幹事 西村 幸彦

7月23日(水)に桑山明久ガバナーと木元慎一中区ガバナー補佐をお迎えしガバナー公式訪問が開催されました。会長、幹事面談においてはクラブの現状と今後の計画についての質問がありました。会員増強に関することについては110名を超える大所帯となっていることを踏まえ長谷川会長からは今後の方針として「自然な純増を目指す」という言葉を用いて説明しました。その他にも友好クラブ、東京OB会、3年間の目標と計画に関することなど多岐にわたり意見交換ができ、その中で奉仕活動として50年以上「歯車賞」を継続していることに対してお褒めの言葉をいただき心より感謝申し上げます。この度は貴重なお時間をいただき大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。その後の例会では桑山ガバナーからRIの活動についての報告やご自身が感じた3つの感謝「秋田県への感謝」「RLIへの感謝」「ガバナーになったことへの感謝」についてのご講演を賜り、会場は終始和やかな雰囲気につつまれた例会となりました。10月25日(土)～26日(日)に開催される地区大会のご盛会をお祈り申し上げます。



「RLI日本支部総会及び研修会」会議報告書

地区RLI委員長 桑 原 透 (秋田RC)

2025年7月26日(土)13時から東京の新虎安田ビルNIKAIカンファレンスにて「RLI日本支部総会及び研修会」が開催され、当地区からは2名が参加しました。

総会では、RLI日本支部の本田博己委員長の挨拶に続いて議事に入り、2024-2025年度事業報告・決算報告並びに2025-2026年度事業計画・予算を可決承認、役員改選を可決承認。

参加地区現況報告では昨年2560地区(新潟)が退会しましたが、新たに2670地区(四国4県)が参加して、全国34地区中29地区がRLIに参加しています。

報告事項として、卒業バッジの価格が700円から1,000円となることが新たに決まり、議事が終了しました。

(日本支部会費は昨年同額の30,000円、テキスト代は昨年同額の1,500円/冊、ファシリテーターガイドブックは昨年同額の1,500円/冊で改訂版は作製しないとの事。)

第2部では、RLIテキストとガイドブックを利用したモデル研修を行ない、その後に各グループに分けて参加者全員で模擬研修を行ないました。

閉会後は、懇親会並びに二次会を行なって他地区メンバーと交流を図ると共に、様々な情報を得ることが出来て大変参考になりました。

また、RLI日本支部と地区との関わりや、RLIラーニング・セミナーを地区で主催する在り方について改めて強く感じました。

会員増強が喫緊の課題である当地区において、RLIを活用・推進することで会員維持やクラブ活性化の有効な手段として地区が主催し続け、クラブを支援する役割がより一層望まれるものと考えます。

当地区が個性溢れる多くのクラブやロータリアンで満ち、ロータリーの目的に沿って地区内全クラブが地域に尚一層貢献するためにも、すべてのロータリアンがRLIラーニング・セミナーを受講してロータリーをより知ることと、全クラブが毎年継続の会員研修事業としてRLIを活用することを実現したいものです。



ポリオ撲滅の募金活動報告

十和田秋田ロータリークラブ

十和田秋田ロータリークラブで7月20日に行われたイベント会場にて、ポリオ撲滅の募金活動を行いました。

7月20日、大湯道の駅を会場に開かれた、「バーンナイト2025」の会場にてポリオ撲滅の募金活動を行いました。

集まった募金の金額は23,700円。募金をしていただいた人数は約30名でした。

募金は7月30日付けでロータリー日本財団の口座へ振り込みいたしました。



新 会 員 紹 介

NEW MEMBER INTRODUCTION

大曲仙北ロータリークラブ ヨン キム フォン ロザリン

入会月日 6月25日
勤 務 先 秋田大学大学院 医学系研究科
地域心身医療学講座
役 職 助教
職業分類 学術・研究
紹 介 者 宗谷 昭一
そ の 他 特定非営利活動法人
光希屋(家)代表
ひとこと これまで、公衆衛生やメンタルヘルスの現場で、ひきこもりや自殺予防といった声になりにくい課題に、地域の中で取り組んできました。一人ひとりが安心して生きられる社会づくりに、ロータリーの皆さまとともに力を合わせていたら幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。



花輪ロータリークラブ 鈴 木 保 (すずき たもつ)

入会月日 7月2日
勤 務 先 東北電力ネットワーク(株)
鹿角電力センター
役 職 所長
職業分類 電力事業
紹 介 者 吉田 孝司



角館ロータリークラブ 藤 村 隆 清 (ふじむら りゅうせい)

入会月日 7月24日
勤 務 先 株式会社サンファーム西木
代表取締役社長
職業分類 農業
紹 介 者 高橋 佐知



湯沢ロータリークラブ 奥 村 真 弘 (おくむら まさひろ)

入会月日 6月26日
勤 務 先 明治安田生命保険相互会社
秋田支社 湯沢営業所
役 職 営業所長
職業分類 生命保険業
紹 介 者 松田 圭司



大館中央ロータリークラブ 梶 原 弘 希 (かじわら ひろき)

入会月日 7月14日
勤 務 先 (株)ユアテック 大館営業所
役 職 所長
職業分類 電気工事
紹 介 者 西村 政幸
ひとこと ロータリークラブに入会させて頂きましてありがとうございます。積極的に活動に参加していきます。



矢島ロータリークラブ 佐 藤 眞 理 子 (さとう まりこ)

入会月日 7月1日
勤 務 先 曹洞宗 高建寺
役 職 住職補佐
職業分類 宗教
紹 介 者 佐藤 成孝
ひとこと 会員の皆様とともに奉仕活動を実践し、微力ではありますが地域社会の活性化にお役に立てれば嬉しく思います。



R 財 団 寄 付 者 一 覧

●マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

花輪ロータリークラブ

浅石 敏明 (あさいし としあき)

入会年月日 2012年1月1日
 2015-2016年度 クラブ会長
 2024-2025年度 クラブ会長
 MPH+9



湯沢ロータリークラブ

岡田 一 (おかだ はじめ)

入会年月日 1993年1月
 2000-2001年度 クラブ幹事
 2011-2012年度 クラブ会長
 2008-2009年度 地区職業奉仕副委員長



横手南ロータリークラブ

石田 知也 (いしだ ともや)

入会年月日 2004年8月24日
 2016-2017年度 クラブ会長
 2008-2009年度 クラブ幹事



横手南ロータリークラブ

西成 忍 (にしなり しのぶ)

入会年月日 1992年7月7日
 2010-2011年度 クラブ会長
 2004-2005年度 クラブ幹事



横手南ロータリークラブ

奥山 和彦 (おくやま かずひこ)

入会年月日 1972年10月17日
 1999-2000年度 クラブ会長
 1978-1979年度 クラブ幹事



横手南ロータリークラブ

加賀清太郎 (かが せいたろう)

入会年月日 1985年3月5日
 2011-2012年度 クラブ会長
 1997-1998年度 クラブ幹事



横手南ロータリークラブ

村田 善重 (むらた よししげ)

入会年月日 2012年7月3日



●ポール・ハリス・フェロー

横手南ロータリークラブ

下村正樹 (したむら まさき)

入会年月日 2010年8月31日
 2021-2022年度 クラブ幹事



●米山記念奨学会

横手南ロータリークラブ

佐々木兼光 (ささき けんこう)

入会年月日 1989年7月4日
 2009-2010年度 クラブ会長
 1993-1994年度 クラブ幹事



横手南ロータリークラブ

柴田 康久 (しばた やすひさ)

入会年月日 2021年7月13日



パストガバナーメッセージ



ガバナー以前

2022-2023 年度ガバナー 高崎 恒夫

現在の規定ではガバナーは全県一区で募集することになっていますが、当時は地域順番制が採られていて、しかも秋田市地区では市内7クラブの順番制が実行されていたので秋田港クラブからガバナーを出す年度は予測がついていたのです。

宮下ガバナー年度にガバナー補佐を拝命した時点で「これはいずれガバナーをやらなければいけない流れだなあ」と思いました。案の定クラブの歴代会長会議で推挙され、あっさり諦めることにいたしました。早速嶋田ガバナー事務所に連絡し手続きしたところ日本で一番早くガバナーノミニーデジグネートになりました。これまでガバナー予定者がなかなか決まらず、日本事務所をやきもきさせてきた地区が今回1番最初に報告してきたことにびっくりしたとのことです。地区の規定にもそれまでデジグネートという言葉がなくて、慌てて選出規定に追加したほどです。

さて無事に認証されてガバナー予定者としての勉強が始まったわけですが、幸い先輩諸兄にも好意的に受け止められ、いろいろご指導を頂きました。諮問委員会にもオブザーバーとして出席を許され、いろいろな案件のいきさつがわかって大変参考になりました。なんにもわからずバタバタと準備せざるをえなかった何人かの先輩ガバナーは本当に大変だっただろうと思います。

そうこうしているうちにコロナ禍が起きてしまい、宮原ガバナーは国際協議会をオンラインで済ませるということになりました。私の時は対面式かオンラインか、なかなか決まらず壮行会の前日に「全面オンラインになったからフロリダに来なくてよい」とメールが来て壮行会の挨拶で「せっかく集まってもらったのに行かなくなった」と頭をさげました。

後続く皆さんに残す教訓は「なりたくてなれるものではない。推されたらこれも縁だと早めに受け入れ（あきらめて）準備期間を長くとったほうが得策」です。

週報・会報クラブ発行状況 7月 (8/6現在)

- 週報・会報を発行されましたら、ガバナー事務所までお知らせください。
- HPに掲載するとともに、折につけてガバナー月信に抜粋して掲載させていただきます。

所属RC	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	合計発行数
花 輪	✓	✓	✓		✓	4
鷹 巣		✓				1
十和田秋田	✓	✓		✓		3
五 城 目	✓		✓	✓		3
潟 上	✓	✓	✓	✓		4
秋 田 南	✓	✓				2
大 曲 南	✓	✓	✓	✓		4
大 曲 中 央			✓	✓		2
大 曲 仙 北		✓	✓		✓	3
湯 沢	✓	✓				2
横 手 南			✓	✓		2

2025年6月会員数の増減

分区		クラブ名	会 員 数					増減
			2024年 6 月末	2024年 7月1日(A)	2025年 6月末(B)	うち 女性	うち 40歳未満	増減数 (B)-(A)
北 区	大館・鹿角	大 館	37	37	35	2		-2
		花 輪	20	20	20	0		0
		鷹 巣	7	7	7	1		0
		大 館 北	21	17	14	3	1	-3
		十和田秋田	25	26	27	1	1	1
		大 館 南	31	31	31	0	1	0
		大 館 中 央	14	14	14	1		0
	能代・男鹿	能 代	51	52	52	9	2	0
		男 鹿	10	10	9	3		2
		二 ツ 井	5	5	5			0
		五 城 目	12	12	12	0		0
		潟 上	30	33	28	0	1	-5
		男 鹿 北	11	11	10	0		-1
		山 本	12	12	12	0	1	0
能 代 白 神		13	13	14	6		1	
中 区	秋 田	秋 田	106	106	112	5	2	6
		秋 田 東	83	83	83	4	1	0
		秋 田 港	47	47	40	8		-7
		秋 田 北	57	57	55	4	1	-2
		秋 田 南	35	35	41	4	1	6
		秋 田 中 央	40	40	41	5		1
		秋 田 西	17	19	21	3	1	2
	本 庄・由利	本 庄	33	33	35	1		2
		矢 島	7	7	7	0		0
		象 潟	8	8	9	1	0	1
		本 庄 東	19	19	20	3		1
		本 庄 南	5	5	6	2		1
南 区	大曲・仙北	大 曲	42	43	53	3	4	10
		角 館	13	13	14	3	1	1
		大 曲 南	14	14	15	2		1
		大 曲 中 央	8	8	11	6		3
		田 沢 湖	17	17	20	1	1	3
		大 曲 仙 北	11	11	12	6	1	1
	横手・湯沢	湯 沢	65	66	70	2	4	4
		横 手	53	53	51	2		-2
		横 手 南	67	67	69	0		2
		西 馬 音 内	15	15	11			-4
		湯 沢 南	22	22	22	1	2	0
		稲 川	13	13	15	3	1	2
横 手 東		11	11	12	0		1	
合 計		1,107	1,112	1,135	95	27	26	

① 未提出のクラブ（黄色マーカー）はマイロータリー参照

② 40歳未満の会員数は未記入のクラブが多いため回答があったクラブのみの集計

